

文化財だより

【古記録に見る鵜川の風景（10）】

昭和前期の鵜川市街地写真



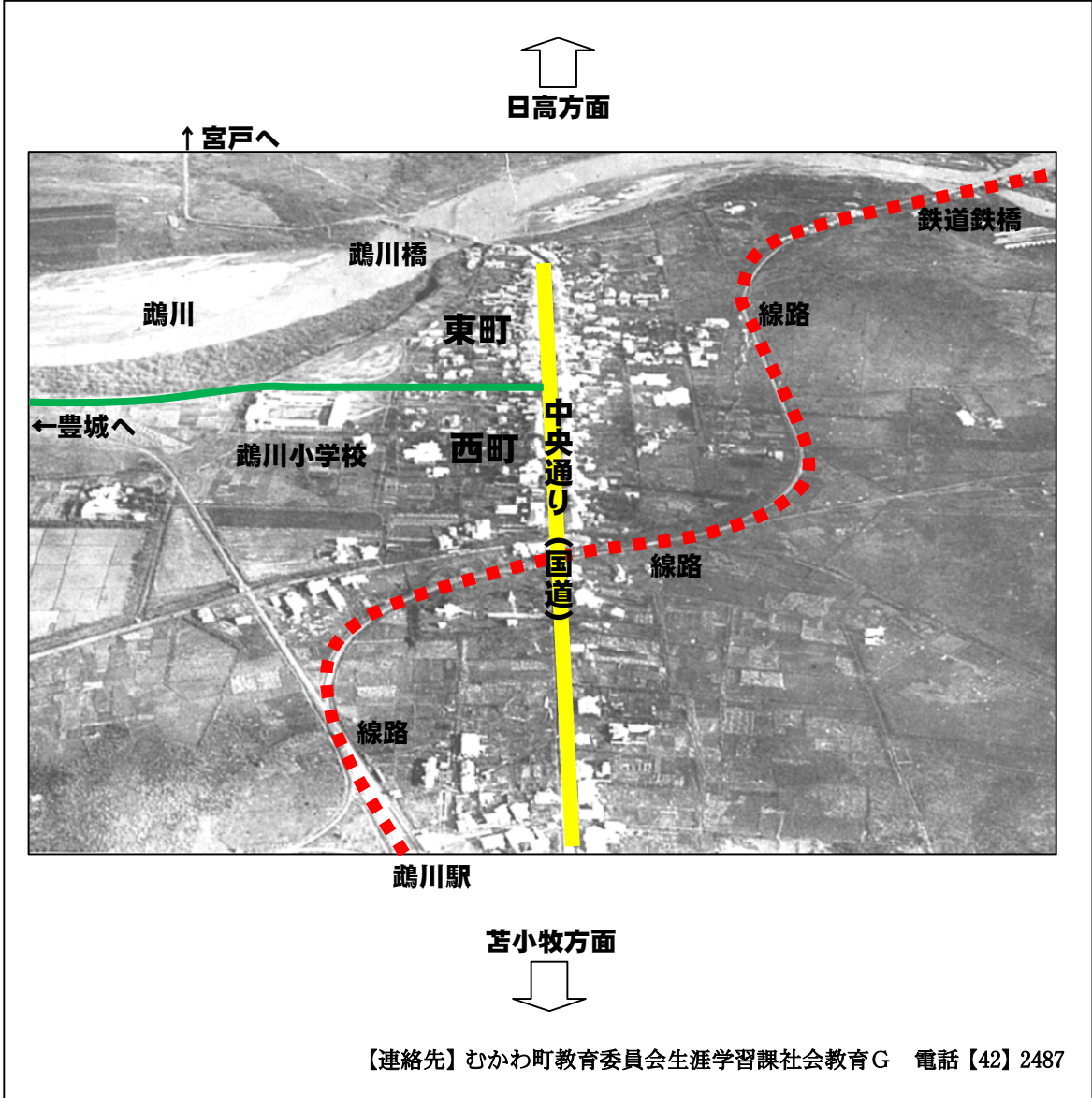
【写真】昭和八年頃の鵜川市街（航空写真）

写真は、昭和八年頃に撮影した鵜川市街の航空写真です。写真の奥に鵜川、中央に旧国道（中央通り）と市街地、手前に鵜川駅が写ります。駅と市街の間は離れており、国道沿いに多くの建物が建ち並びます。写真の中心部分は、現在の道道 10 号と中央通りの交差点付近に当たり、ここから旧鵜川橋までの間が、明治以後に整備された鵜川市街の様子を色濃く残す部分です。市街では、鵜川交番手前の交差点を境に、東町、西町と呼び分け、明治二十年代に発展した東町から、後発の鵜川駅方向に向かって、建物の密度が薄くなる様子がわかります。

鉄道は、明治末に苦小牧の王子製紙まで材木を運ぶ線路が整備され、大正十五年には静内まで延伸されました。この頃の線路は、現在の鵜川農協付近から大きく南へ曲がり、中央通りをこえて、役場本庁舎の敷地を通り、市街地の南側を大きく迂回するルートでしたが、後に工事が行われ、昭和十年頃、現在の線路の形になりました。

○資料 『鵜川町史』昭和四十三年

『第二回胆振二歳馬共進会記念絵葉書』昭和八年七月



【連絡先】むかわ町教育委員会生涯学習課社会教育G 電話【42】2487